

成田空港圏「国家戦略特区」早期実現へ



成田空港は、日本が先進国の中で後れを取ることなく発展してゆくための重要な拠点です。今進められている「首都圏空港の更なる機能強化」は、たくさんの住民に大きな変化を強いる反面、周辺地域に多大な富をもたらす巨大な国家プロジェクトです。

私達は成田空港が日本の経済を支える重要なインフラストラクチャとしてその機能を十全に発揮できるよう、このプロジェクトに協力することを目的に成田空港圏の住民、商工業者の力を集めて活動を続けています。

内陸にある空港として、広範囲の地域に騒音を及ぼす成田空港は周辺地域との調和や、空港圏全体の均衡ある発展が重要であると考えています。

2021年1月に千葉県によって提案された「国家戦略特区」実現は、空港圏の均衡ある発展を進める要です。国、県、自治体、空港会社、周辺住民が力を合わせ「特区」実現を目指して邁進しましょう。

【空港周辺の開発を促すための重要な「規制緩和」】

成田空港とその周辺を活性化するには、空港圏に民間資本による宅地・教育・医療・福祉・商業など多様なサービスの提供が必要です。しかし、土地利用は多くの法律で規制され、これら開発の妨げになっています。特に農地転用の規制緩和は早急に実現されなければならない課題です。

また、農林水産業については、新生成田市場を核とした国際化をはかり、成田空港圏全域が日本の農林水産業のショーケースとして機能するエリアが形成され、周辺の農業従事者が発展できるような地域振興策を提案いたします。

【九十九里浜を国際リゾートに】

九十九里浜の美しい海浜や栗山川ではサーフィンやカヤックなどがすでに行われていますが、成田空港の近くにある未活用の観光資源です。海と川を生かして各種スポーツ施設や宿泊施設などを整備し、魅力ある投資地となるよう多様な施策展開を計りましょう。

【空港東側の重点整備と空港オアシスを】

1・新設される滑走路の近接地に空港を眺められ、地域住民と空港利用者やトランジット客を呼び込める観光情報サービスや地場特産品を提供する空の駅「空港オアシス」の設置を提案致します。

さらにインターチェンジ付近に「大規模なバスターミナル」を併設することで空港圏はもちろん国内各地に往来可能な陸路のハブの設置を提案します。

2・空港隣接地に大規模な駐車場を整備し空港東側からの道路アクセスを改善して、従業員向けの駐車場から共同運行バスで各職場にアクセスできるようにします。さらに空港東側にも立地優位性を生かした高機能物流施設を提案します。



【空港圏のバランスのとれた道路交通網の充実を】

圏央道や北千葉道路などの広域的な幹線道路の整備を進めるとともに、成田空港の機能強化の効果を周辺地域へ波及させるため、一般道も含めた、空港圏のバランスのとれた道路交通網の充実を国、県、空港周辺市町、空港会社が連携を図りながら目指してください。

さらに、渋滞や交通安全上の問題となっている主要道路交差点緊急的改良（右折レーン設置等）や圏央道の全線4車線化の早期完成などスピード感ある道路交通網の充実を提案します。



【高谷川と栗山川の河川整備と空港への幹線道路を】

第3滑走路からの排水は、空港敷地内の調整池の設置により流出抑制されますが、高谷川とその下流の栗山川に流れます。両河川の整備は将来にわたる課題です。

また九十九里浜から横芝光町・多古町・芝山町を經由して、成田空港に入れるような幹線道路の整備を提案します。この新道は成田空港圏の均衡のとれた発展に繋がると思います。

【芝山千代田駅前エリアと成田空港の直結を】

芝山千代田駅前と成田空港は、フェンスで隔てられ、遠回りを余儀なくされて不便です。芝山千代田駅周辺には空港勤務者や用地内の移転者のための宅地開発も予定されています。役目の終わったフェンスは撤廃し地域と空港の一体化の実現を提案します。

【成田空港に「首都圏防災センター」を】

成田空港は分水嶺という高台に立地し、自然災害に強い内陸空港です。内閣府は、今後30年以内に70~80%の確率で、南海トラフ巨大地震が起こると発表しています。首都東京も震度7以上の地震と大津波に襲われ、南海地震の死者は、30万人以上と予想されています。

「首都圏防災センター」は、国の施設として早急に作らなければならないと私達は考えています。成田空港はその最適な候補地です。



成田空港と地域の繁栄を目指す有志の会

2021年版

第2弾

〒286-0117 千葉県成田市三里塚光ヶ丘1-371

TEL 0476-35-5022 FAX 0476-35-5023

「みらいのカタチ」は、成田空港圏の未来への「夢」を描きました